

サポート通信

令和5年3月31日発行



広島市立広島特別支援学校

発行者 広島市立広島特別支援学校地域支援部
広島市南区出島4丁目1-1 TEL代表 (082)250-7101



日々の取組が高校入試につながった！iPadでの解答で実力発揮！

R5年度広島県公立高等学校入学者選抜における特別措置

この度の令和5年度広島県公立高等学校入学者選抜において、「iPadによる解答の入力」が認められました。前年度には、「個室での代読」が認められており、入試における特別措置は確実にアップデートされています。認められた特別措置の例と、そこに至るまでの取組の概要を紹介します。

これまでに認められた発達障害に係る特別措置の例

令和3年度入試

- 問題用紙のルビ振り、拡大
- 時間延長
- 別室受検

令和4年度入試

- 個室での代読

令和5年度入試

- iPadでテスト問題の解答、自己表現カードの記入

iPadによる解答とは？ 令和5年度入試の場合

- Notability（ノタビリティ）というアプリを使用。
- 解答用紙のデータに貼り付けられたテキストボックスに入力。
- 予測変換機能を使って入力。（漢字の書き取り問題以外）
- 試験までの2～3週間、本番で使用するものと同じiPadの貸し出しあり。



特別措置に至るまで

建設的対話

日々の変更調整

経緯や成果の記録

- 本人の困り事を聞き取り、必要な合理的配慮について建設的な対話を繰り返してきた。

- 合理的配慮＝個別の変更調整を、授業や宿題、テストで試してきた。

例えば…



代読する。



代筆する。



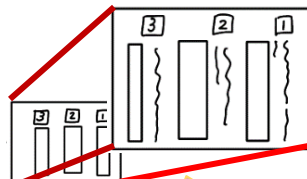
音声教材（音声教科書）を使う。



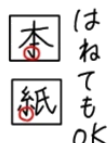
iPadで文章を入力する。



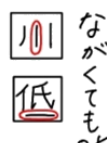
漢字にルビをつける。



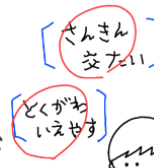
問題用紙を拡大する。



はねてもOK
紙



ながくてもOK
低



さんきん交たい
どくがわいえす

ひらがなだけで合ってるからまる！

各教科のねらいを考えて…漢字の骨組みがあれば正解。平仮名でも内容があれば正解。

- 家庭や授業で合理的配慮のもと取り組んだ経緯や成果等の記録があった。

取組紹介

JSI-R(日本感覚インベントリー)を使った実態把握について

私たちは日常的に様々な「感覚」を使って暮らしています。感覚には、五感と言われる【視覚】【聴覚】【嗅覚】【味覚】【触覚】がありますが、これ以外にも身体の揺れや傾き、回転などを感じ取り、身体のバランスをつかさどる【前庭覚】、筋肉の張り具合や関節の曲げ伸ばしを感じ取り自分の身体の位置や動きを把握する【固有受容覚】などがあります。「JSI-R(日本感覚インベントリー)」とは、これらの7つの感覚刺激の受け取り方の傾向を把握し行動の特徴・特性を捉えるためのチェックリストです。このチェックリストを用いて、本校第2学年のある児童の実態把握を行いました。

【JSI-R(日本感覚インベントリー)を用いて実態把握を行った経緯(担任より)】

小学部2年生 Aさんは、普段から特定の音を嫌がったり、気になるものがあると気持ちがそちらに向き、教師の声が届かずに走って行ってしまったりすることがあります。感覚のつまずきからこのような姿が見られるのではないかと考え、Aさんの感覚の捉え方の特性を知りたいと思いました。加えて、保護者の方に御協力いただき、自宅での様子と学校での様子を比較し、環境が違えばAさんの姿も違うのかをJSI-Rを用いて捉えてみました。



担任

【JSI-R(日本感覚インベントリー)の結果と作業療法士より考察】(※すべては載せきれないので、一部を抜粋しています。)

Modality Analysis	Raw Score	Green	Yellow	Red
前庭感覚	22/6	24	25~34	35
触覚	7/2	30	31~46	47
固有受容覚	5/4	9	10~15	16
聴覚	20/9	9	10~18	19
視覚	8/6	13	14~22	23
嗅覚	4/3	2	3~7	8
味覚	2/0	5	6~10	11
その他	6/4	12	13~21	22
総合点	74/44	109	110~157	158

Green
典型的な状態(健常児の約75%に見られる)

Yellow
若干、感覚刺激の受け取り方に偏りの傾向が推測される状態(健常児の約20%に見られる)

Red
感覚刺激の受け取り方に偏りの傾向が推測される状態。すなわち、ある刺激に対して過敏であったり、鈍感であるような状態(健常児の約5%に見られる)

下のような感覚機能に関連する147つの項目から構成され、1つ1つの項目に対して「0~4、×、?」のいずれかを記入していきます。各領域のスコア合計をサマリーシートのRawScoreに記入し、換算表より3段階評価尺度へ変換します。

No.	動きを感じる感覚 (前庭感覚)
1	転びやすかったり、簡単にバランスを崩しやすい。
2	階段や坂を歩くときに慎重で、柱や手摺りをつかみ身を固めるようにして歩いている。
3	足元が不安定な場所を怖がる。
4	高い所に登ったりすることを怖がる。(階段、植栽等)
5	安全な高さからでも、飛び降りることができない。
6	危険をかえりみず、高い所へ登ったり、飛び降りたりすることがある。
7	ブランコなど揺れる遊具で大きく揺らすの好み、繰り返し何回も行う。
8	ブランコなど揺れる遊具を怖がる。
9	滑り台など、滑る遊具を非常に好み、繰り返し何回も行う。
10	滑り台など、滑る遊具を怖がる。
11	非常に長い間、自分一人であるいは遊具に乗ってぐるぐる回転することを好む。

(※青数字は学校での様子、赤数字は自宅での様子、黄色のグラフは学校での評価を示しています。)

Aさんの聴覚の受け取り方は、学校では『偏りの傾向があることが推測される状態(Red)』、自宅では『偏りが目立たない状態(Green)』という結果でした。人込みの中で会話が聞き取りにくくなったり、テレビ番組に集中していて話しかけられたことに気付かなかったりする状態に、Aさんも時折なっていると推測されます。学校と自宅での状態が異なるのは、評価者間の点数の付け方の違いに加えて、物理的・人的な環境が異なることが理由(自宅に比べて学校の方が聴覚刺激が多い)になっている可能性も考えられます。学校はどうしても周りに人や物が多く、その分、聴覚刺激も増える傾向があります。必要に応じて聴覚刺激を絞りながら活動していく必要があると思います。



作業療法士

【結果を受けて(担任より)】

聴覚の受け取り方に偏りがある、という結果を受けて、Aさんと話をする時には、話に耳を傾けることができるように、できるだけ静かな環境を設定することを心掛けました。それに加えて、Aさんの「文字を読んで理解することができる」という得意な部分を生かし、言葉では注意が逸れて聞き取れないことを、メモで簡単に書き出して伝えるようにしました。言葉に加えて、視覚的に目で見て分かる形で伝えることが、Aさんに取っては有効的な手段だと分かり、必要な場面で使用するようになっています。

児童の行動には何かしらの背景があり、その中の一つに感覚の受け取り方の偏りがあるということが考えられます。普段のAさんの姿から、どうしてこういう姿があるのだろうか?と疑問に感じている部分がありましたが、行動の特徴をアセスメントによって客観的に捉えることで、「ここの感覚に偏りがあるのか。」と明確になり、支援や指導に生かせるヒントになりました。チェック項目の内容や結果が全てではありませんが、より児童の生活や学習に関する困難さに寄り添いながら、関わっていくことができるようになりました。

HPへGO!



ICT 機器の活用

タブレット端末で、録音した文章の読み上げを聞く

文字や文章を読むことに困難さがある場合、文章の内容にアクセスする方法として「読み上げ」を聞くことが有効な場合があります。大人が読み上げる場合、子ども自身が「好きなタイミングで聞きたい。」「繰り返し聞きたい。」などの思いを伝えにくい場合があり、読みの主体者となるためには対話を重ねることが必要です。タブレット端末でアプリの録音機能を使うと、子ども自らが操作をすることで、必要に応じて「読み上げ」をコントロールすることができます。今回は、iPad でできる録音音声の読み上げ方法を紹介します。

「Keynote」(キーノート)



GIGA タブレットにあるアプリ。テスト画像をスライドに貼り付け、スライドに声を録音することができます。

① 「+」をタップし、「写真またはビデオ」か「カメラ」でスライドに画像を貼る。

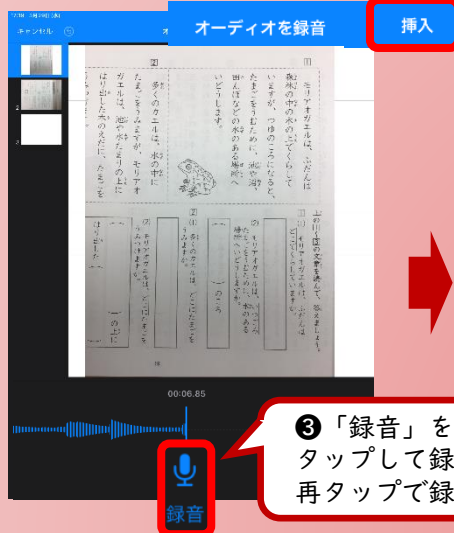
- 写真またはビデオ
- カメラ
- オーディオを録音

画像をダブルタップすると、トリミングもできる。

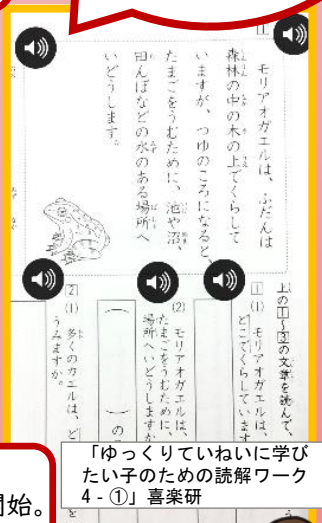
② 「+」をタップし、「オーディオを録音」をタップする。

④ 「挿入」でのマークとともに録音音声が入る。

編集の状態の画面で音声のボタンをタップすると、録音した音声は再生される。
*スライドを再生(▶)すると、スライド上の音声も同時再生されてしまう。



③ 「録音」をタップして録音開始。再タップで録音停止。



「ゆっくりていねいに学びたい子のための読解ワーク 4-①」 喜楽研

「Notability」(ノタビリティ)



iOS 用のノートアプリ。「書く」機能のほかに「録音する」機能があります。貼り付けた文字やマークに録音ができ、タップするとその時に録音した音声も再生できます。

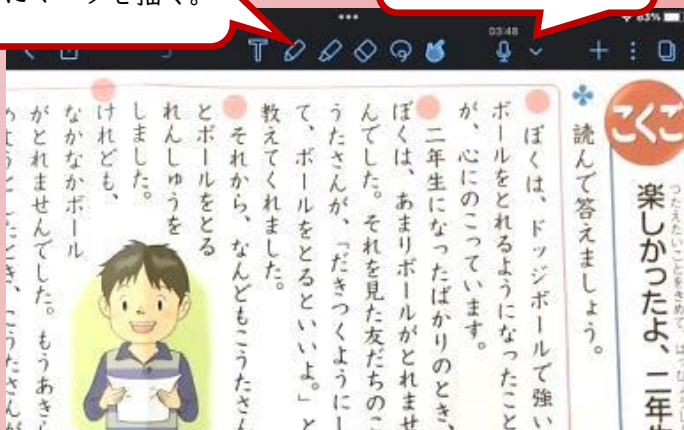
マークが再生ボタンになり、タップすると録音した音声も再生される。

② 読み上げたい箇所マークを描く。

③ マークに音声を録音する。

① プリント等をカメラで撮影して、ノート画面に貼る

ぼくは、ドッジボールで強いボールをとれるようになったことが、心にのこっています。

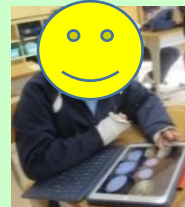
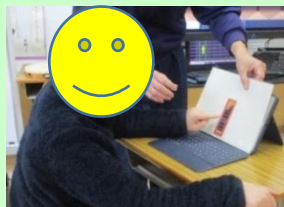
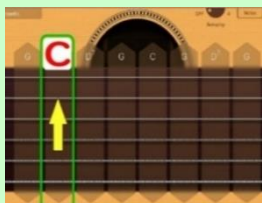


ICT 機器の活用

「GarageBand」で 楽器の演奏をする

小学部5年生の GIGA スクールタブレットのアプリ「GarageBand」を用いた音楽科の授業実践を 紹介します。学習目標は「自分が知っている曲に合わせて好きな楽器で和音を鳴らし、演奏を楽しむことができる。」としました。実践では、音楽のテンポや児童の手指の操作性に合わせてスリットシートを用いたり、楽器を鳴らすタイミングを教師が言葉掛けて知らせたりして支援を行いました。実践後の児童の反応として、教師の言葉掛けを聞いてタップして演奏する姿や自分が弾いたギターや和音を聞いて嬉しそうな表情になり、繰り返しタップして演奏しようとしたりする姿が見られました。ドラムやピアノに興味をもった児童もいて、授業後にタブレットを借りて、自分から演奏する姿も見られました。

【アプリ「GarageBand」について】音楽制作アプリで、ピアノやドラム、ギターなどの楽器の演奏機能のほか外部音源の録音など多様な機能があります。演奏機能も和音の配置を任意に変えるなど、使用者に合わせてカスタマイズができます。



書評

発達障害について理解を深めるために

今号では発達障害を有する人たちの世界の見え方や接し方について書かれた本と自閉スペクトラム障害の人たちの恋愛を取り上げたオーストラリアのリアリティ番組(ドキュメンタリー)を紹介します。

① 『発達障害の人が見ている世界』

岩瀬利郎 (精神科医・東京国際大学医療健康学部准教授 著) アスコム



●主に ADHD と ASD の特性を分かりやすく説明しながら、発達障害を有する人たちを取り巻いて起こる様々なエピソードを紹介し、この障害の特性についての理解を促します。全編に渡りイラストやコミックが使われ、文章の重要部分に色付けがされているなど工夫がされているので、内容が分かりやすいです。書店で平積みになっていた本書を手に取り本を開いた瞬間、その「分かりやすさ」を実感しました。発達障害を有する人たちの物事の受け止め方や感じ方を知り、彼らが見ている世界を共有することで生活の困りごとを軽減する解決策を考え、「楽に生きる」ための方法を共に見出そうとしています。最終章では「障害の特性を生かして社会で大きな成功をつかんでいる例もある」と、特性を強みにして生きることで活躍できる未来への可能性を語っています。

② 『ラブ・オン・スペクトラム～自閉症だけど恋したい!～』(原題: Love on the Spectrum)

(製作: Northern Pictures 日本配信: NETFLIX)



●オーストラリアで製作され、オーストラリア ABC テレビで放映された後、現在日本では NETFLIX で配信されているリアリティ番組です。

(シーズン1・2) 番組のタイトル通り、理想の恋愛や結婚を追い求める自閉スペクトラム症(ASD)を有した20代から30代の若者の生活に密着し、コミュニケーションに困難を抱える彼らが挑戦するデートの様子を映し出します。本人、家族、関わる人たちなどへのインタビューから、本人の葛藤が浮き彫りになり、家族、支援者の深い思いが伝わってきます。番組が進行していくうち、主人公の思いに共感し、心から応援しながら見ている自分に気がきます。ここに出てくる専門家の話や支援は ASD の障害を理解する上で大変な参考にもなります。日本とオーストラリアの国の違い、文化の違いはあるとはいえ、開放的で進んだ支援の実態など見ていると興味深いものがあり、勉強になります。海外の評価サイトでも高評価を得ている番組です。一度御覧になってみてはいかがでしょうか。